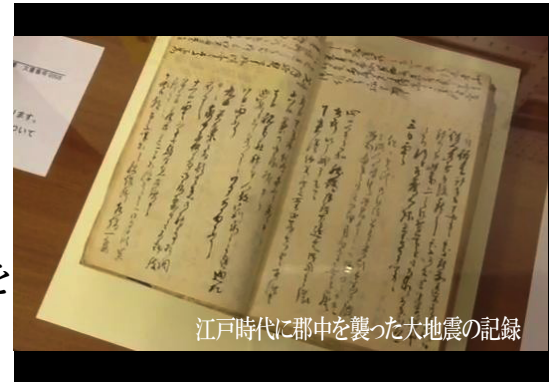


津波・震災対策に全力 定例会で活発に政策提言

地域の危険箇所や避難場所などを地図に書き込みながら震災時の行動を学ぶ「災害図上訓練」(DIG)を自主防災組織などで積極的に活用するよう求めました。また、図書館での災害関連図書の展示を要望し、実現！市側より「地域防災力を育む有効な手段であり、各自主防災活動での取り組みを啓発したい」との答えを得ました。



江戸時代に郡中を襲った大地震の記録

3月21日(水)～4月15日(日)伊予市立図書館にて開催
震災関連図書コーナーが設置されました。

17の震災対策を質問

★ 実現しました

- ★ 公立学校施設の防災機能の向上
- ★ 「被災者支援システム」の導入・運用について
- ★ 防災無線が聞こえにくい時があります。その対策は？
- ★ 大きな地震の時のため池対策を
- ★ ハザードマップの見直しを早急に。
- ★ 市民への情報提供として、図書館で震災関連図書の展示を
- ★ 津波の見える化を
- ★ 各区の自主防災組織にDIG(デイグ)参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練の実施を
- ★ 災害発生時の市民への情報伝達、情報収集の方法は？
- ★ 自主防災組織の責任者を支える人材、後継となる担い手の育成を
- ★ 地域防災マップの周知と理解は？
- ★ 自主防災組織における防災訓練を
- ★ 自主防災組織への支援について
- ★ 家族防災会議の日の制定を
- ★ 緊急30分通報システムの導入を
- ★ 遠隔地の市町村と災害時相互応援協定を
- ★ 危機管理課の設置を

実現

伊予市のホームページが見やすくなりました

4月1日より伊予市のホームページが生まれ変わりました。伊予市公明党がわかりやすく、高齢者や障がい者の方々にもやさしいホームページを要望してきました。緊急災害関連ニュースや音声による読み上げなど新しい機能も加わりました。



新しくなったホームページ



今までのホームページ

緊急情報を一斉送信できるエリアメールスタート

東日本大震災後、災害時の避難勧告などの緊急情報を提供するNTTドコモの「エリアメール」が注目されています。

このエリアメールとは、伊予市内の市民が持っている携帯電話に緊急情報を一斉送信できるサービスで、対応機種であれば事前のメールアドレスなどの登録手続きなしに、災害情報などを受信できるシステムです。既に伊予市はNTTドコモソフトバンク・3社と契約しました。メールアドレスの登録は不要で、通信料や使用料はかかりません。ただ、受け取れる携帯電話とそうでない携帯電話がありますので、購入されたお店でご確認ください。